

富山

富山市、南砺市および立山町

地域プロデューサークラス（富山編）

自治体の施策とコラボ 地域の積極的な関与がアイデアを生む

朝大生に期待
しています！



富山市・森雅志市長



立山黒部アルペンルートのひとつ、弥陀ヶ原を歩く受講生たち



懇親会では、富山市八尾地区で踊り継がれる「おわら風の盆」が披露された



南砺市・田中幹夫市長



コンパクトシティを目指す富山市の市街地を走る路面電車「セントラム」



考える、熱い！大人がクラスに集います。そして、それは地域側も同じ。五箇山の西さんのように、熱い思いを持った人が、F.Wで受講生を受け入れ、交流から生まれるアイデアに期待しています。F.Wが終わった後に受講生からよく聞くのは、「こんなに温かく迎えてもらって、よくしてもらって、熱い思いを聞いて、簡単には引き下がれない！」という決意の言葉です。責任という負担に感じますが、受講生の顔はいたって楽しそう。両者が本気で取り組むからこそ、良質なアウトプットが多く生まれているのです。

縦割りにも挑む 人を主役にした連携

富山をテーマにした地域プロデューサークラスでは、できそうでなかなか実現が難しかった様々な連携が起こったことと、クラスの活動に広がりができました。

協力体制



地域の課題を共有

丸の内朝大 「地域プロデューサークラス」

受講者：40名 時期：7月～9月
東京・丸の内にて平日朝開講。全7回。
富山へのフィールドワーク1回。

富山市・南砺市・立山町 「富山の魅力発信講座」

受講者：15名 時期：6月～10月
富山にて平日午後に関講。全7回。
東京でのフィールドワーク2回。

丸の内にて「地域に眠る資源の探し方」など3回の講義を受けた後、富山でFW(フィールドワーク)。帰京後も「ブランディング・PRについて」などを学び、最終回の8回目でチームごとにプレゼンテーションを行った。複数のチームが、FWとは別で富山に足を運び、地域への理解を深めた。

都市の「感覚」提供

共同チームで課題にアプローチ

アイデア

- 富山市「食」チーム
とやまマリアージュ
- 富山市「エコツーリズム」チーム
総合感動薬T4U
- 南砺市「里山の食」チーム
なんとなく幸せ
- 南砺市「里山の暮らし」チーム
世界昼寝遺産
- 立山町「地域資源」チーム
多手山プロジェクト



富山の生産物や、生産者の仕事の面白さが溢れているという課題を解決するアイデア。富山の魅力を伝える「マリアージュ」を結成し、生産者、レストラン等の関係者を集めた富山と東京をつなげるイベントを企画し、2月に実施した。



「富山＝薬」というイメージを利用し、富山のホスピタリティを「処方箋」で表現。富山ファンへの定着化を目指した。クラス終了直後の9月には、丸の内にて富山食材を使った朝食をプロデュースし提供された「キットキト朝カフェ」を実施。



南砺市の特産品は彩りがあまりなく、「シブく」「地味」であるという課題を、盛り付けやパッケージデザインを工夫した「なんとなく幸せ弁当」で解決。丸の内01に向け、南砺の食のファンになってもらえるような弁当を提案。



立山アルペンルートに毎年100万人の観光客が訪れる一方で、立山町のふもとエリアは表通りされている点を課題に設定。山岳地域に向かう観光客に挨拶の意味で手を振るといったアイデアを提案し、10月に実施された。▶P12



富山をテーマにした地域プロデューサークラスでは、できそうでなかなか実現が難しかった様々な連携が起こったことと、クラスの活動に広がりができました。

まずは、富山市・南砺市・立山町の3市町が共同で地域活性化のプロジェクトを始めたこと。そして、そのプロジェクトには、行政だけでなく、地域で暮らす民間人も加わったこと。さらに、プロジェクトが地域だけでなく、都市にある丸の内朝大とタッグを組んだこと。本クラスの企画者のひとり、富山市環境部環境政策課の中村圭勇さんはこの連携について、「行政の『縦割り』意識の中では画期的なこと」だと言います。「地域活性化に決まった答えがあるわけではありません。人と人との関わり合いの中で、価値観をベースにいろんな人がつながってコミュニティを形成し、素晴らしい展開が生まれればよい。それが、朝大をプラットフォームにすればできるのではないかと思いました。主役は人です。枠をとばらってみることで考えれば、よいアイデアも生まれます」(中村さん) F.Wには、3市町の首長も訪れ、地域側の期待の大きさを感じたこのクラス。「富山の魅力発信講座」に通う地元の方々と一緒に考えたアイデア(上図)は、講座最終回に発表され、すでに活動がスタートしています。

「地域と都市の人がコミュニケーションできる場を今後もつくっていきたく」と話す中村さん。今後も3市町は朝大との連携を継続し、長期的な視点で地域の課題解決と魅力発信に取り組む考えです。

